

岩手から世界へ、そして・・・

岩手大学 海外留学体験報告



A Glance at Our Study
Abroad Experience

タイトル：「バカになって、根拠なき自信を持とう」



氏名：高橋 和希

学部・研究科名：教育学部

学科・課程名・コース名：学校教育教員養成課程

海外経験：

フィリピン・1カ月（1年次）

ニュージーランド・8カ月（3年次）

進路：通信関連の企業

●留学の概要を教えてください。(国、場所、目的、期間等)複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

—1年次の春休みに1か月間、フィリピンのマニラにあるデラサール大学へ語学研修。

3年次の10月から大学を休学して8か月間、ニュージーランドのクライストチャーチへ震災からの復興や教育に関するボランティア・インターンシップを行うために、トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラムの6期生として留学。その他、研修等で中国に2回渡航。

●留学や海外研修等を志すきっかけは何でしたか？

以下選択肢で該当があれば☑をお願いします。

ヤングリーダーズ国際研修 English Camp 多文化コミュニケーション（授業）

Global Villageイベント 留学生との交流 その他授業

その他（以下に、具体的に記載をお願いします。）

—サークルUの学祭の屋台でバングラデシュの留学生と交流したことがキッカケ。それまで海外や留学には1ミリも興味がなかった。

●留学を志してから、どのような準備をしましたか？また、どのようなサポートを岩手大学で受けましたか？複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

—研究室の活動で留学の目的であった教材研究の知識・技術を学んだ。また、Foundation of Englishを受講して英語力の向上に努めた。

●留学の前後での語学力の変化を教えてください。良ければ語学検定試験などの点数の変化も教えてください。

—挨拶レベル→日常会話・専門分野の通訳 TOEIC 510 → 770

●留学中の体験でその後の自分を変えたと思うような事があれば教えてください。

—英語力を無理矢理にでも上げるために、街の公園のベンチで「私と英語で話してください」と書いたダンボールを持って一日中座り込んでいたこと。たくさんの現地人と会話して英語力は向上し、思い切りの良さや行動力が俄然身に付いた。

● 留学中、一番つらかったこと、大変だったことは何ですか？ 解決するためにはどのようなことをしましたか？

—辛かったことは順位をつけられないくらいたくさんあった。英語が上手く通じなかったり、日本に帰りたくなったり、やるべきことが一時的に何もなくなったり、帰国1カ月前に家を追い出されたり…。そんな時はとりあえずバカになって行動するようになった。がむしゃらに動き回ること事態が好転することも多かった。本当に辛いことは理屈では解決しないのだと学んだ。

● あなたが留学を経験して、得たと思うことは何ですか？

—【視野の広さ】【視座の高さ】【フットワークの軽さ】の3つ。自分の常識が通じない世界に行き、様々な価値観に触れ、様々な志を抱いて行動する人に出会うことができた。自分が広い社会の中で生きていき、高みを目指す人たちに追いつくためにできることは一度バカになってフットワークを軽くして行動していくことだと留学を通して学んだ。

● 留学は進路を決める際にどのような影響をもたらしましたか？

—留学で衝撃を受けたことや、留学後の経験、トビタテでの経験を通して自分の中で解決したい社会課題を発見することができた。今は有難いことにその社会課題に取り組むことのできる企業で働いている。

● 留学のための費用はどのように確保しましたか？

—フィリピン留学はアルバイトで、ニュージーランド留学は「トビタテ！ 留学JAPAN」の奨学金で確保した。

● 岩大生が「もっとできるはず」と感じる事はどんなところですか？

—岩大生は自分の能力を低いと思っている人が多いように思う。極端に言えば「東大生に比べれば自分なんて…」と考えている人がいると思うが、一人ひとりに得意なことや好きなことはあるはずで、根拠なき自信と勢いで行動に移していけばいいのではないかと感じる。

● 岩大生に活用してほしい、またはオススメの岩手大学の各種サポートについて教えてください。

(例：Foundation of English, Step-up English & Super English, 英語多読リーダーズ, English Timeラーニングサポート, 留学相談 等)

—留学相談は積極的に活用してほしい。岩手大学では国際課・先生・学生等々、多くの人が留学の相談に乗ってくれる環境が整っていると思う。自分一人で考えて、自分には無理だと決めつける前に、経験豊富な人たちに相談してみれば、思わぬ解決策が見つかると思う。



写真①現地の日本祭りでは屋台をオープン！



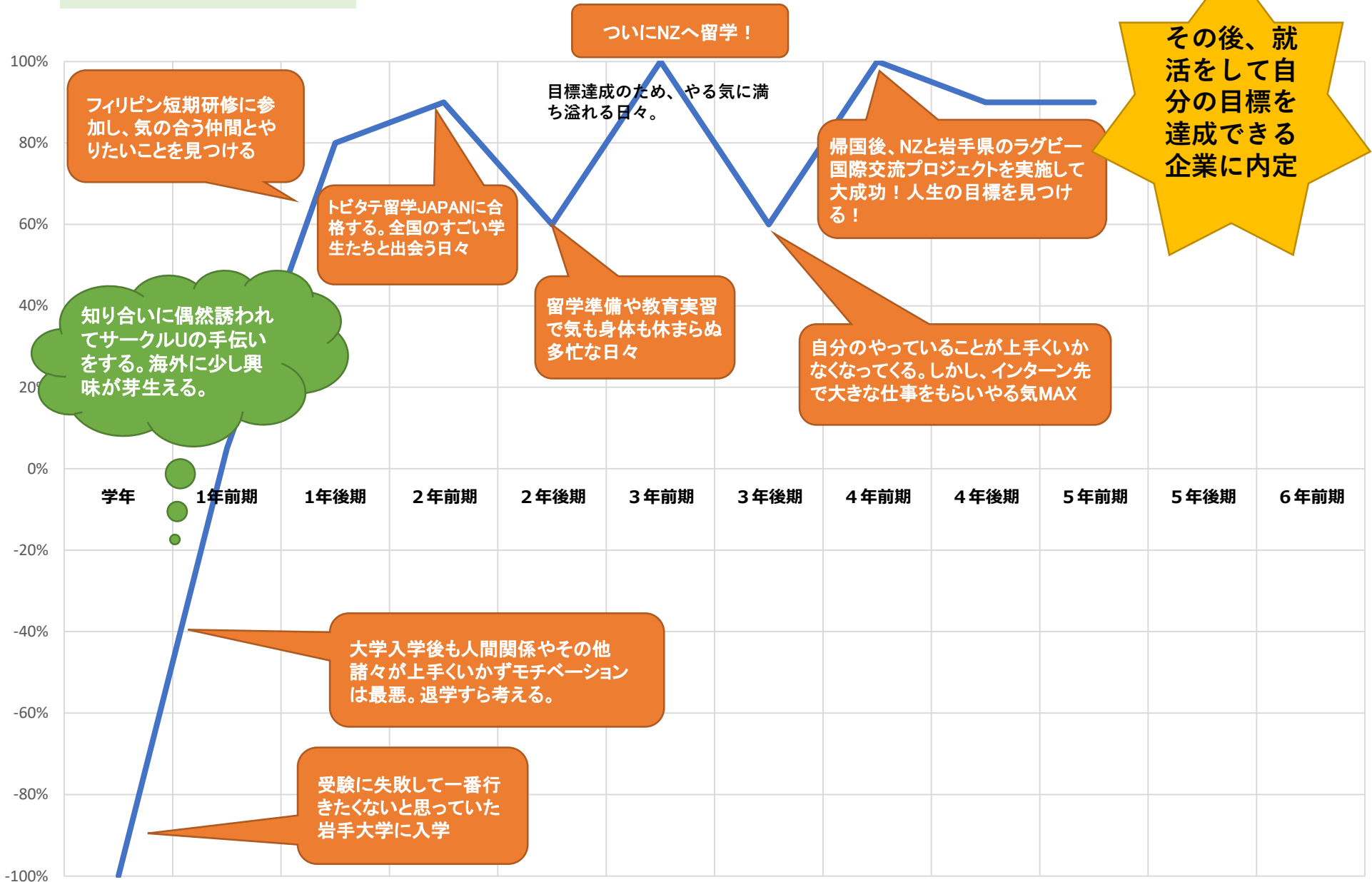
写真②NZに研修に来た釜石の中学生たちとの一枚



写真③帰国後に参画したNZ×岩手のラグビー国際交流事業

氏名： 高橋 和希

モチベーショングラフ



岩手から世界へ！そして・・・ 留学を経験した先輩たちのストーリー

タイトル：「…ミネソタ大学博士課程進学へ向けた研究室インターン留学…」



氏名：若原征哉

学部・研究科名：農学部

学科・課程名・コース名：農学生命課程・生物産業科学コース

海外経験：

行先・期間（年次） ミネソタ大学（米）

3年後期から休学し1年間

進路：ミネソタ大学 博士課程

(Land and Atmospheric Science)

● 留学の概要を教えてください。(国、場所、目的、期間等)複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

ーアメリカ・ミネソタ州にあるミネソタ大学で、2017年10月から1年間の研究室インターンシップを行い、精密農業（土壌科学重点）を世界的権威である教授から学びました。

● 留学や海外研修等を志すきっかけは何でしたか？

以下選択肢で該当があれば☑をお願いします。

ヤングリーダーズ国際研修 English Camp 多文化コミュニケーション（授業）

Global Villageイベント 留学生との交流 その他授業

その他（以下に、具体的に記載をお願いします。）

ー学士課程在籍中に、専攻分野の精密農業を世界的権威である教授から学び、また岩手大学卒業後、同留学先の博士課程へ進学するために研究室インターン留学を志しました。

● 留学を志してから、どのような準備をしましたか？また、どのようなサポートを岩手大学で受けましたか？複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

ーまずは、英語学習に取り組みました。岩手大学内ではFoundation of English, Step-up English, Super Englishなどを利用しました。また、ベストな留学先(・進学先)を探し、交渉をして最適な留学計画をたてました。

● 留学の前後での語学力の変化を教えてください。良ければ語学検定試験などの点数の変化も教えてください。

ー留学前の段階で既に、ある程度の専門性を有する会話にも加わることができました。留学後はネイティブの友人や教員から流暢さが増したと言われました。留学直前には語学検定試験を受験しませんでした。1年後期の時点でTOEICスコアは700点ほどだったと思います。留学後はTOEFLを2度受験し、1度目は95点、2度目は102点でした。

● 留学中の体験でその後の自分を変えたと思うような事があれば教えてください。

ー多くの人が見返りを求めることなく私を助けてくれました。このことから、私も周囲の人と関わる時に、そのような寛大な心と愛をもって接したいと思いました。

● 留学中、一番つらかったこと、大変だったことは何ですか？ 解決するためにはどのようなことをしましたか？

ー 学士課程在籍中の研究室インターンシップという希少な立場で留学したので、同様の境遇にいる学生や研究者に出会うことができず友人作りに苦労しました。そこで、積極的に学内イベントへ参加したり、幼少期から続けていたサッカーを通じて友人を作りました。

● あなたが留学を経験して、得たと思うことは何ですか？

ー 先を見越して情報収集・計画をする力、さらにそれを実行をする力です。

● 留学は進路を決める際にどのような影響をもたらしましたか？

ー 前述のように、ミネソタ大学の博士課程へ進学することが研究室インターン留学の動機の1つでした。

● 留学のための費用はどのように確保しましたか？

ー 授業料を免除していただいたので、興味のある講義は無料で聴講することができました。生活費については両親が支援してくれました。とても感謝しています。

● 岩大生が「もっとできるはず」と感じる事はどんなところですか？

ー 就職活動でも進学でも1,2年先を考え、情報収集、計画をし、大学入学時よりステップアップして卒業するという強い信念のもとにそれを実行することです。東京などに比べ地理的条件は不利ですが、だからこそ前もって動くことが大切だと思います。

● 岩大生に活用してほしい、またはオススメの岩手大学の各種サポートについて教えてください。

(例：Foundation of English, Step-up English & Super English, 英語多読リーダーズ, English Timeラーニングサポート, 留学相談 等)

ー 私は主に英語系のサポートを利用しましたが、特にFoundation of English, Step-up English, Super Englishは英語力向上にお勧めです。



写真①
フィールドトリップでの土壌観察



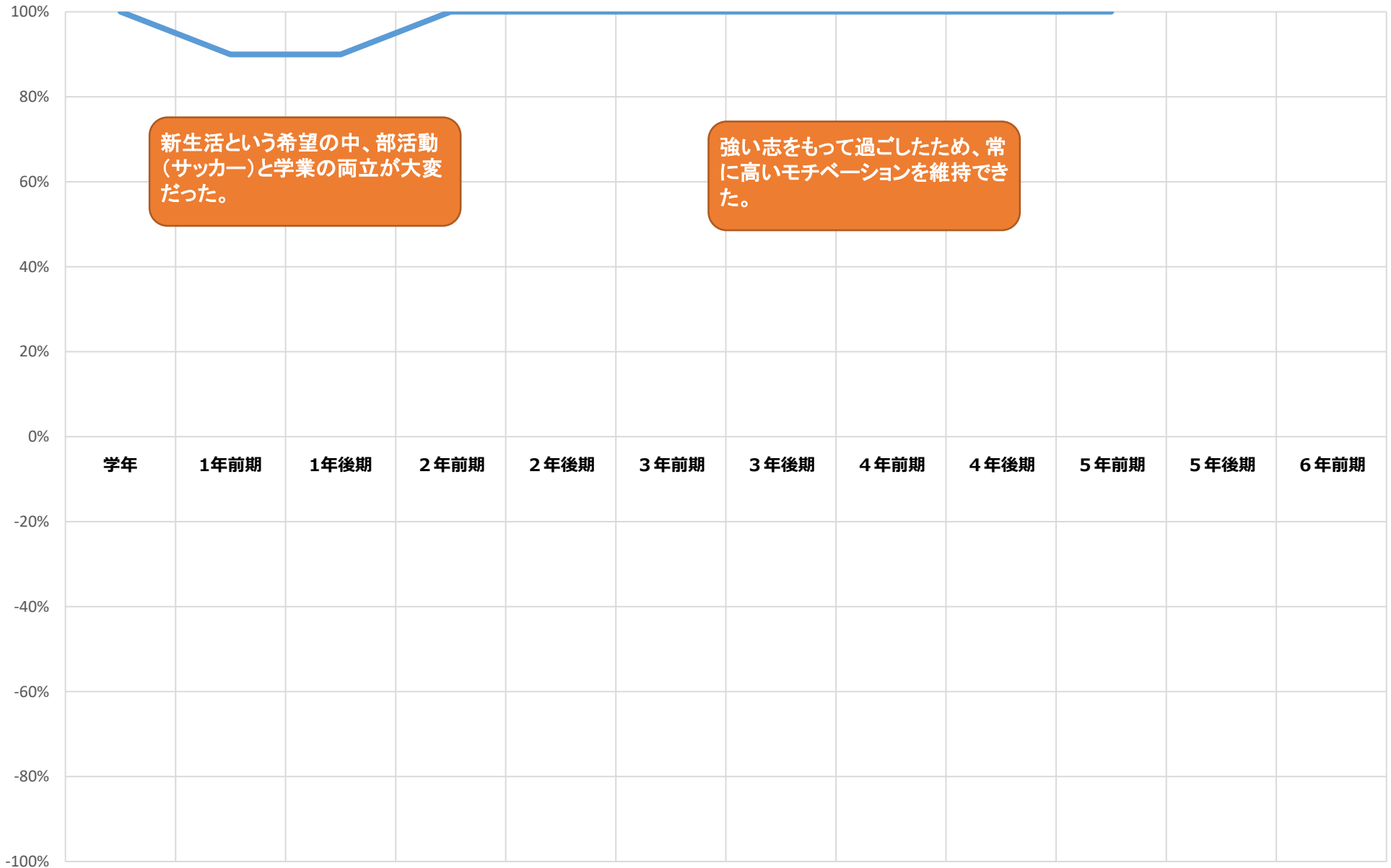
写真②
広大なセントポールキャンパス



写真③
校章とマスコットの像

氏名：若原征哉

モチベーショングラフ



新生活という希望の中、部活動（サッカー）と学業の両立が大変だった。

強い志をもって過ごしたため、常に高いモチベーションを維持できた。

岩手から世界へ！そして・・・ 留学を経験した先輩たちのストーリー



氏名：速水 陽平
学部・研究科名：工学部
学科・課程名・コース名：電気電子情報システム工学科
海外経験：
アメリカ合衆国カリフォルニア州・1ヶ月（B3）
アメリカ合衆国ニューヨーク州・1年（M1）

進路（現在の所属）：
電気通信大学情報理工学研究科情報学専攻

● 留学の概要を教えてください。(国、場所、目的、期間等)複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

－B3の時にカリフォルニア州でUS-Japan Forumのグローバルプロ養成プログラムに参加しました。

M1の時にビンガムトン大学にて強化学習とタスクプランニングに関する研究留学をしました。

● 留学や海外研修等を志すきっかけは何でしたか？

以下選択肢で該当があれば☑をお願いします。

- ヤングリーダーズ国際研修 English Camp 多文化コミュニケーション（授業）
 Global Villageイベント 留学生との交流 その他授業
 その他（以下に、具体的に記載をお願いします。）

● 留学を志してから、どのような準備をしましたか？また、どのようなサポートを岩手大学で受けましたか？複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

準備

- －岩手大学の提供しているプログラムの調査
- －資金集め
- －英語学習

サポート

- －Step-up English & Super Englishでの英語力向上
- －トビタテ留学Japan申請に関わるもの全て

● 留学の前後での語学力の変化を教えてください。良ければ語学検定試験などの点数の変化も教えてください。

－まだ留学中なので点数で測ることができていませんが、国際学会に提出できるくらいにライティングスキルは身についたと思います。スピーキング・リスニングについても研究についてのディスカッションが辛うじてできるくらいには身につきました。

● 留学中の体験でその後の自分を変えたと思うような事があれば教えてください。

－ゼロからの研究成果を国際学会に提出できたことが大きい成果だと思います。博士課程を海外で取りたいと感じるきっかけとなりました。

●あなたが留学を経験して、得たと思うことは何ですか？

－アカデミックの知識（情報工学）

－自己分析力

－日本の課題点とそれに対する自分の意見（経済・政治）

●留学は進路を決める際にどのような影響をもたらしましたか？

－自分を客観的に捉え直し、本当にやりたいことは何かや今後どのようなキャリアパスを進むかを深く考えるきっかけとなりました。

●留学のための費用はどのように確保しましたか？

－B3時はアルバイトで貯めたお金と岩手大学内の奨学金を利用

－M1時はトビタテ留学Japanに応募して全費用をトビタテ奨学金で負担

●岩大生が「もっとできるはず」と感じる事はどんなところですか？

－人によると思うので自分が「もっとできたはず」と感じる点を挙げると、「きっかけを掴みにいく事」「いやになるほど深く考える事」「目的を履き違えずに全力でやり切る事」です。

留学を通して今までできてなかったなと感じる自分の課題が見えてきたように思います。

まず外の世界と関わる事で自分にできていなかったことが見えるようになりました。サポートしてくれる方々との対話を通じて自分の考えの浅さに気付きました。そして一緒に頑張れる仲間を見つけることで妥協せずにやり切る力がつきました。

●岩大生に活用してほしい、またはオススメの岩手大学の各種サポートについて教えてください。

（例：Foundation of English, Step-up English & Super English, 英語多読リーダーズ, English Timeラーニングサポート, 留学相談 等）

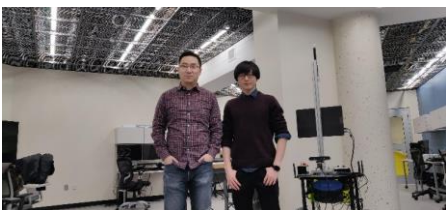
－Step-up English & Super English

－Word Engine

－図書館の学修支援室

●これからの目標や、計画について教えてください。

－海外の博士課程にアプライする予定です。博士課程では強化学習とプランニングに関する研究を続けていきます。将来的には研究者として社会に貢献することを目標としています。



ビンガムトン大学の指導教官
(Shiqi先生)との写真



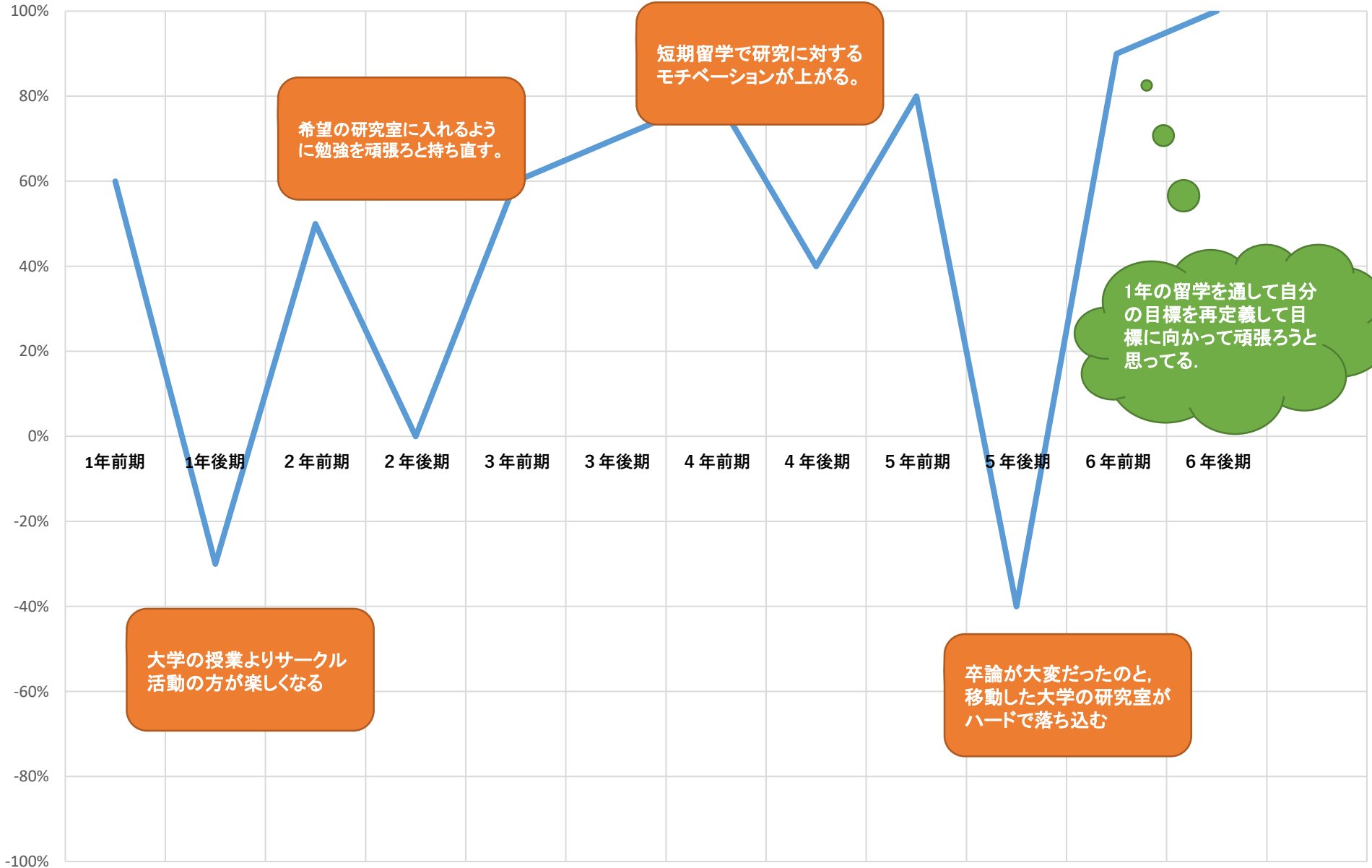
研究室のメンバーとの持ち寄り
パーティーの準備中



Robotics & A.I.のカンファレンス
イベント

氏名：速水 陽平

モチベーショングラフ



岩手から世界へ！そして・・・ 留学を経験した先輩たちのストーリー

「対話的な学びの実践を英語教育の現場から（トビタテ×交換留学×教育×バスケ）」



氏名：北村 ちひろ
学部・研究科名：教育学部
学科・課程名・コース名：学校教育教員養成課程英語科
海外経験： アメリカ、2週間（高1）
 フィリピン、1ヶ月(大1)、1週間(大2)
 ベトナム・カンボジア・台湾、2週間（大2）
 タイ、2週間（大2、3）
 韓国、1週間（大2）
 アメリカ、10カ月（大4）
進路：高校英語教員

- 留学の概要を教えてください。(国、場所、目的、期間等)複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。
 - アメリカ [ケンタッキー州]、TOMODACHIホームステイ研修プログラム、2週間
 - フィリピン [マニラ]、春期海外英語研修、1ヶ月
 - タイ [バンコク]、プアプログラム (教育インターンシップ)、2週間×2回
 - アメリカ [イリノイ州]、トビタテ！留学JAPAN×交換留学(英語教育)、10カ月
- 留学や海外研修等を志すきっかけは何でしたか？以下選択肢で該当があれば☑をお願いします。
 - ヤングリーダーズ国際研修 English Camp 多文化コミュニケーション (授業)
 - Global Villageイベント 留学生との交流 その他授業
 - その他 (以下に、具体的に記載をお願いします。)
 - 上記すべてが少なからずきっかけにはなっていると思いますが、自分の中でその都度ゴールがあって、そこに向かう過程に留学の必要性を感じる事が大きなきっかけだと思います。
- 留学を志してから、どのような準備をしましたか？また、どのようなサポートを岩手大学で受けましたか？複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。
 - 短期留学、研修プログラムに関しては、担当教員や国際課の職員さんからのサポートを受けながら、保険の加入や航空券の手続き、内容によっては事前研修などがありました。交換留学の際もほぼ同様ですが、TOEFLの受験や受け入れ校へ提出する書類の準備、VISAの発行などは自分で行ないました。また、言語面での準備としては、Super Englishなどの課外授業に参加しました。トビタテにおいては、先生方や職員さんにサポートしていただきながら、提出書類の準備、面接練習などを行いました。
- 留学の前後での語学力の変化を教えてください。良ければ語学検定試験などの点数の変化も教えてください。
 - 帰国後に英語能力を測るテストをまだ受けていないため、目に見えての変化は分かりません。実感としては留学の前後でそれほど大きな変化はないように感じます。(ある程度準備をしてから留学したからかもしれません。) それでも、留学を通して、専門分野での語彙力はもちろん向上したし、特に日常会話での瞬発力は養われたと思います。
- 留学中の体験でその後の自分を変えたと思うような事があれば教えてください。
 - 特に留学中に会った仲間たちが私にとって大きな存在だったと思います。国籍、人種、文化、言語、性的指向が様々な彼らと共に過ごすことで、自分自身を肯定し表現することの大切さ、違いに寛容になることの意味を教わりました。この経験が、私の物事への見方を少し柔軟にしてくれたし、この経験を通して感じたことは、これから自分が伝えていきたいと思っています。

- 留学中、一番つらかったこと、大変だったことは何ですか？ 解決するためにはどのようなことをしましたか？
 - 自分から積極的に行動しなければいけない場面が多く、初めは思うように行かず大変でした。例えば、普通の授業で特に困ることは無かったのですが、グループワークとなると一大事でした。英語力がアメリカ人学生に負けることは当たり前だと開き直り、伝えたいことは躊躇せずに伝える努力をしました。その結果、内容を評価してもらえるようになり周りからも受け入れてもらえるようになりました。また、フィールドワークに際して自分でアポを取らなければいけない時は、現地の友だちに助けを求めたり、自分から教員にメールをしてコネクションを広げたりと挑戦を大切にしました。“You have to expect things of yourself before you can do them.”の言葉を胸に生活していました。
- あなたが留学を経験して、得たと思うことは何ですか？
 - 授業で得た知識、実習から学んだスキル、アメリカの教育を経験して見えたこと等、様々なことが成果としてあります。その中でも、多様な人々との関わりを通して、自分と他者について見つめなおすことが出来たという経験は自分にとっては大きな成果だったと思います。さらに、現地で得た友情や人脈は目に見える成果ではありませんが、これからの私の目標を支え、鼓舞する大切な成果だと思います。
- 留学は進路を決める際にどのような影響をもたらしましたか？
 - もともとある程度留学前から進みたい道は決まっていたこと、その道に進む前に留学をすべきだと思ったこともあり、留学後大きく影響したことはありませんでした。しかし、留学したということ自体が進路選択において大きな自信につながったし、学びを通して進路決定を確実なものに出来たと思います。
- 留学のための費用はどのように確保しましたか？
 - 短期留学・研修については、プログラムによっては奨学金がありましたが、基本的にアルバイトなどで自己負担をしました。長期留学(交換留学)では、トビタテ留学JAPANの多様性人材コースで奨学生に採用していただき、残りを自己負担しました。
- 岩大生が「もっとできるはず」と感じる事はどんなところですか？
 - 岩大はとてもチャンスに溢れていると私は思っています。何か挑戦したいことがあるなら、面白いアイデアがあるなら、もっと表に出してもいいのではないかと思います。私自身、お互いに火をつけ合える、鼓舞し合える仲間に出逢えたからこそ、これだけの経験が出来たのだと思っています。もっと人に伝えること、そして、booster（応援者）を増やすことが出来たら、もっともっと楽しくなると思います。
- 岩大生に活用してほしい、またはオススメの岩手大学の各種サポートについて教えてください。
(例：Foundation of English, Step-up English & Super English, 英語多読リーダーズ, English Timeラーニングサポート, 留学相談 等)
 - 留学が決定する前から、少しでも英語を伸ばしたいと思うのであれば、Foundation of English, Step-up English & Super Englishは受講するに越したことはないと思います。私自身、留学の計画はありませんでしたが、英語の課外学習は続けていて、いざ行きたいと思った時に準備が出来ている状態だったことは良かったと思っています。また、留学相談の機会を上手く活用して自分の目標とそれに向かうためのステップを具体化することも大切だと思います。そしてなにより、そういった場に参加することが、その後の留学計画をサポートしてくれるような人たちに巡り合えるきっかけにもなると思います。



North Central Collegeのみんなと。



念願のNBA。Chicago Bulls。



イースターにホストファミリーと。

岩手から世界へ！そして・・・ 留学を経験した先輩たちのストーリー

タイトル：「私を変えた海外経験」



氏名：門脇日向
学部・研究科名：農学部
学科・課程名・コース名：共生環境課程
海外経験：フィリピン、1ヶ月（1年次）
フランス、3週間（2年次）
カナダ、11ヶ月（3年-4年次）

進路：鹿島建設株式会社

●留学の概要を教えてください。(国、場所、目的、期間等)複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム・理系複合融合人材コースの7期生としてカナダのサスカチュワン大学に11ヶ月間留学。水環境に係る研究活動を行った。

●留学や海外研修等を志すきっかけは何でしたか？

以下選択肢で該当があれば☑をお願いします。

- ヤングリーダーズ国際研修 English Camp 多文化コミュニケーション（授業）
Global Villageイベント 留学生との交流 その他授業
その他（以下に、具体的に記載をお願いします。）

●留学を志してから、どのような準備をしましたか？また、どのようなサポートを岩手大学で受けましたか？複数回行っている方は、それぞれについて記入をお願いします。

留学先の受け入れ先を探すのにとても苦労した。国際課のみならず、農学部の教授、グローバルセンターの教授の方々に協力をいただき、サスカチュワン大学に受け入れ先を見つけることができた。

●留学の前後での語学力の変化を教えてください。良ければ語学検定試験などの点数の変化も教えてください。

留学を志したときのTOEICの保有スコアは490点（2017年2月受験）
最新のスコアはTOEIC875点（2020年1月受験）

●留学中の体験でその後の自分を変えたと思うような事があれば教えてください。

人との出会い。留学を無事に終わったのは現地でお世話してくれた教授や友人、日本人会の皆さんの存在があったから。人との出会いは人生を変えるものだった。

● 留学中、一番つらかったこと、大変だったことは何ですか？ 解決するためにはどのようなことをしましたか？

研究活動。英語もうまく話せない中で専門性が高い研究を行うことは本当に大変で、辛かった。それでも、自分で志したからにはやりきろうと、毎日英語の勉強は欠かさずし、研究についても教授とのミーティングを繰り返した。人生で一番学んだ1年間だったと胸を張って言えます。

● あなたが留学を経験して、得たと思うことは何ですか？

困難にあえて立ち向かっていく心意気。社会が抱える問題を解決したいという意識。自分がこの先どのように生きていきたいのかの答え。あと、少しの英語力。

● 留学は進路を決める際にどのような影響をもたらしましたか？

内定を頂いた会社には、留学での経験を評価してもらえたと思う。

● 留学のための費用はどのように確保しましたか？

トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム

● 岩大生が「もっとできるはず」と感じる事はどんなところですか？

何も考えず、飛び込むこと。

● 岩大生に活用してほしい、またはオススメの岩手大学の各種サポートについて教えてください。
(例：Foundation of English, Step-up English & Super English, 英語多読リーダーズ, English Timeラーニングサポート, 留学相談 等)

・English Camp



大学のイベントで日本ブースを出店した時の様子



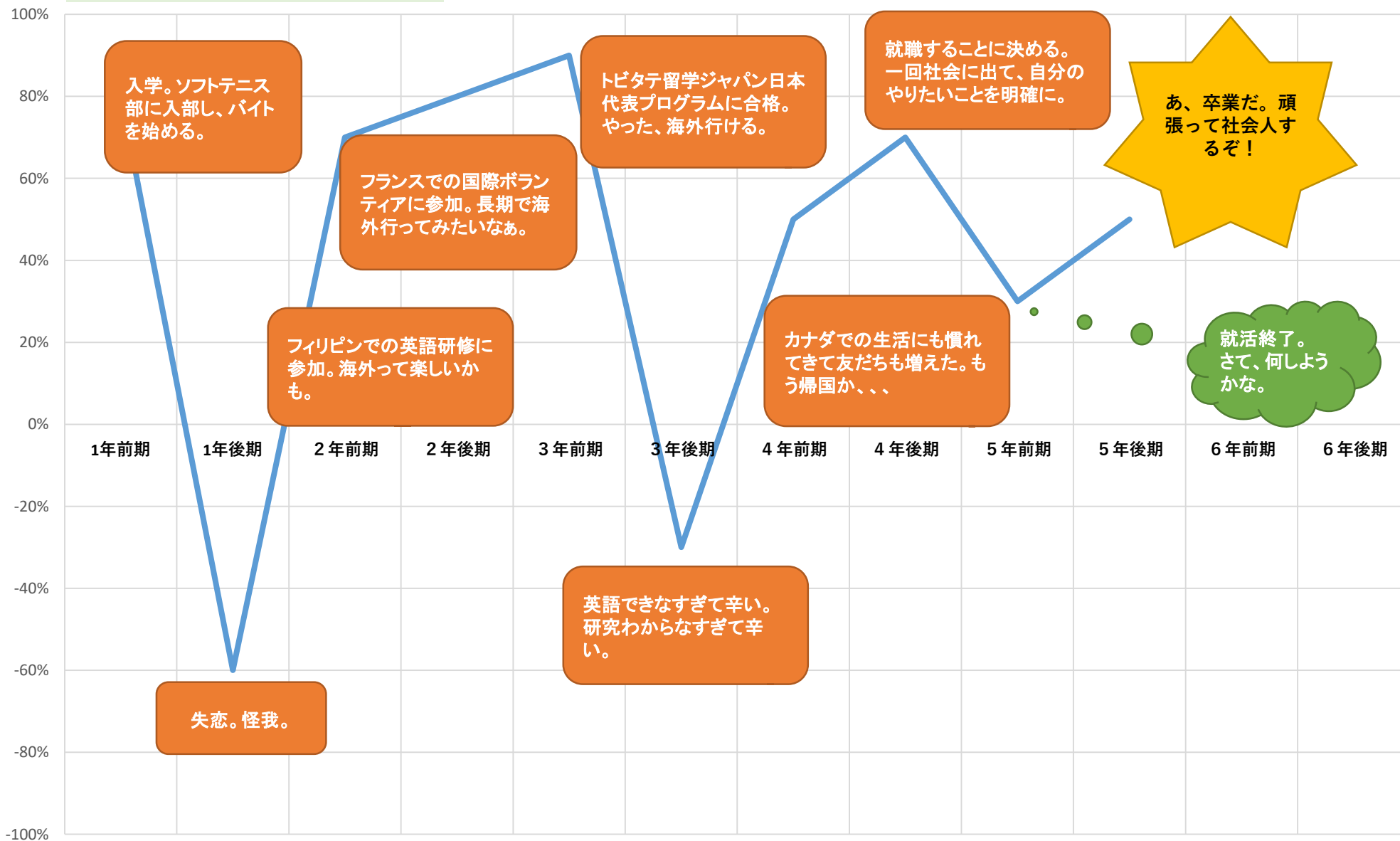
フィールドトリップで訪れたイエローストーンナショナルパーク



バンフへ旅行

氏名：門脇日向

モチベーショングラフ



岩手大学国際交流 SNS 紹介



<https://www.facebook.com/intl.iu>



<https://twitter.com/iwateintlbandai>



https://www.instagram.com/iwateuniversity_international/



岩手大学国際交流公式YouTube
Iwate University International



Iwate University
Social Media Accounts!

岩手県中国留学生学友会Wechat



岩手大学国際交流
IWATE UNIVERSITY International Exchange



岩手大学

海外留学体験

報告



Facebook



Twitter

